

移住アンバサダー制度を創設しました 10人がアンバサダーに就任！



後列左から、奥村さん、ケイシーさん、石間さん、岡元さん
前列左から、有生さん、柴田さん、井出市長、稲垣さん、林さん



抱負を述べるケイシーさん

移住定住施策の1つとして「能美市移住アンバサダー」制度を創設し、7月6日、委嘱状交付式が市役所で行われました。式では、能美市へU I Jターンされ、地域のためにご尽力いただいている方10人（阿部乃里子さん、有生礼子さん、石間崇さん・絵美さん、稲垣舞さん、岡元豊さん、奥村源さん、ケイシービーンさん、柴田有希佳さん、林葵さん※五十音順）に委嘱状が交付されました。

アンバサダーの活動内容は、移住者が事前に知りたい情報の発信、移住後のフォローアップ、移住プロモーションイベントへの参加などです。自身の経験を生かし、不安や疑問を感じる移住者に寄り添います。委嘱期間は3年間です。

九谷焼フィギュア 新デザイン3体が登場

8月11日から施行される能美市九谷焼美術館新名称を記念し、ウルトラマン、バルタン星人、ブースカのフィギュア3体がさらにリアリティのあるデザインとなり登場します。

またそれに併せ、8月15日と16日に、絵付け体験イベントを開催します。さらに、8月12日から23日まで、市内九谷焼作家による作品展も開催します。各催しの詳細は、本紙20～21ページに掲載しています。



新デザインのフィギュア3体

加賀丸いものPR映像制作 金沢学院大学と連携しスタート

能美市の特産物のひとつである伝統野菜「加賀丸いも」の販路拡大を図るため、市では、金沢学院大学と連携したPR映像の制作を開始しました。

6月24日、芸術学部の飯田栄治教授とゼミの学生2名が来市し、農家のつる巻き作業の撮影を行いました。PR映像は、今年度末までに完成し、その後農家のみなさんに商談会などで活用していただく予定です。



撮影を行う金沢学院大学の教授と学生ら

農家と柚餅子菓子店がコラボ 「国造ゆずコンフィチュール」完成

国造柚子生産組合と柚餅子総本家中浦屋（輪島市）が協働で開発した加工品「国造ゆずコンフィチュール」が完成し、7月3日に能美市ふるさと交流研修センター「さらい」で試食会が行われました。

この加工品は、平成29年度に国造柚子生産組合、柚餅子総本家中浦屋のほか、民間事業者、能美市等が構成員となった研究会での活動をもとに開発されたものです。



「コンフィチュール」とは、フランス語で「ジャム」を意味します



中浦社長が商品の特徴などを説明しました

開発された加工品は、国造ゆずの中でもより希少価値の高い種なし・小ぶりな品種「多田錦」と県内産米飴をブレンドした「国造ゆずピュアコンフィチュール」と、業務用の「国造ゆずコンフィチュール」です。

試食会当日は、このコンフィチュールを使用した試食品が用意され、井出市長や塚田良三国造柚子生産組合長、中浦正克社長らが感想・意見を交換しました。

お互いを大切に 「人権の花運動」贈呈式

小松人権擁護委員協議会能美部会と石川県人権擁護委員連合会による「人権の花運動」贈呈式が和気小学校で行われました。「人権の花運動」とは、人権擁護委員から小学校児童へ花の苗等を贈呈し、それを子どもたちが協力して育てることで、生命の尊さを実感し、優しさや思いやりの心を育んでもらうことを目的とした活動です。

今年度は和気小学校を



プランターへ花の苗を植える和気小児童と人権擁護委員



正面玄関に掲示された標語

対象に正面玄関にて児童会運営委員、園芸美化委員の児童17名と人権擁護委員4名でプランターへ花の苗を植えました。また、和気小学校6年生から募集した人権に関する標語の中から織田琴音さんの「思いやり 広がっていき みんなの輪」が優秀作に選ばれ、和気小学校正面玄関に掲示されています。

「自ら学ぶ力」を大切に NOMIフオーアアップスクール開校!

今年度で13年目に入るフオーアアップスクールの開校式が、6月20日、各会場で行われました。

この教室は、算数科を中心に自学自習で学んでいきます。小学生が学校の授業で分からなかったところを講師に質問する形で進められます。

今年度は、土曜日の午前中のみ5会場で開催予定し18〜19回の開催を予定し

ており、現在110名の小学生が利用しています。

「あいさつを進んで学ぶ」「よく考えて自分のための勉強にとりくむ」など、『よりよい自分になるためのフオーアアップ7ヶ条』を全員で確認することから始まり、静かな環境で一人ひとりが意欲的に学びを進めています。途中参加も受け付け

けますので、ご希望の方はお問い合わせください。



途中参加をご希望の方は、学校教育課（☎58-2271 ☎55-8530）にお問い合わせください。

第70回社会を明るくする運動

青少年の非行防止や罪を犯した人の立ち直りを地域社会で支え合い、更生を援助する活動である「社会を明るくする運動」が7月に全国展開され、市内でも啓発活動が行われました。

小松能美保護区保護司会能美支部の保護司と能美地区更生保護女性会員は7月1日、市役所を訪れ、井出市長に内閣総理大臣からの同運動に対するメッセージを伝達しました。



内閣総理大臣からのメッセージを井出市長に伝達する元山支部長

日本ガイシ株式会社、 NGKセラミックデバイス株式会社からご寄附

日本ガイシ株式会社石川工場およびNGKセラミックデバイス株式会社石川工場から、市の環境整備を目的に18万4000円の寄附金をいただきました。

寄附金は、社内や家庭での食品ロスの削減や、地域の清掃活動などによるエコポイント制度でた

まったポイントを金額に換算したものです。



右から日本ガイシ(株)の金子石川工場長、山口さん、井出市長、NGKセラミックデバイス(株)の塚本光代さん、井出市長に活動内容を報告しました。

高齢者健康クラブスタート!

根上はまなす健康クラブ、寺井末広健康クラブ、辰口健康クラブ「スマイル」の市内3地区の健康クラブが開講しました。おおむね60歳以上の会員計82名が参加し、ダンス・体操を楽しみました。

各クラブの会長があいさつを行い、1年間の抱負を力強く述べました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講が3か月遅れとなりました。



参加をご希望の方は、スポーツ振興課（☎58-2273 ☎55-8555）にお問い合わせください。

令和2年度熱中症初期対応研修を開催

今年は、自粛生活の影響により、体力が低下し、例年よりも熱中症発症リスクが高まることが懸念されています。

7月2日、スポーツ関係者を対象に、防災センターで熱中症初期対応研修を開催しました。講師の消防本部職員は「熱中症は適切に対応すれば、症状を軽減でき、予防も可能。重症化した時はためらわずに救急車を呼んでください」と、初期対応の大切さを話しました。



熱中症の予防や初期対応については広報7月号にも掲載しています

「土砂災害防止に関する絵画・作文」で川端葉菜子さんが優秀賞を受賞

令和元年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の総応募数4719作品の中から、作文(中学生)の部で、辰口中学校3年の川端葉菜子さんが優秀賞を受賞しました。

川端さんは「土砂災害が起きた時にできること」と題し、ふるさとへの思いと自身の体験をもとに「自助共助」の意識で災害に備える必要性を作文にしました。受賞について「驚いたけど、とてもうれしかった」と話しました。



左から川端さん、谷口教育長

株式会社吉光組からベンチを寄贈していただきました

公共施設の駐車場を拡大するため周辺の雑木林を伐採した株式会社吉光組から、伐採で出た木材を利用した木製ベンチを寺井グラウンドゴルフ場に寄贈していただきました。

株式会社吉光組能美営業所所長の吉光成寛さんは「利用者に必要とされているものを製作させていただいた。ぜひ活用していただきたい」と話しました。



吉光所長(右)とベンチ設置を喜ぶ市民の皆さん

福岡保育園の園児が加賀丸いものつる巻きを体験

7月9日、福岡保育園の年長児24人が中庄町の畑で加賀丸いものつる巻き体験をしました。

この体験は、能美市の特産物である加賀丸いもの栽培や普及に取り組んでいる「中庄町丸いも倶楽会」の企画で毎年行われています。最初につるの巻き方の指導を受けた園児たちは、長く成長しながら、畑の上に張ったビニール紐へ丁寧に巻き付けていました。



つる巻きに挑戦する園児ら